

2025年3月5日 灰の水曜日 「十字を刻む」 マタイ 6:1~6,16~21

日本ルーテル教団関東地区 巡回牧師 北川逸英

三日前の日曜日に私たちは、主の変容を憶えて礼拝を行いました。

ルカによる福音書 9:28-29 には

<イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた>とあります。

今日私たちはそれとまったく逆に、額に黒い灰を塗り、沈黙の中に帰ります。

今日から四旬節が始まります。この灰の水曜日は、とても大きな世の変わり目です。2025年3月5日は、世界の転換点となります。

いま私は皆さんに申し上げます。今日からこれまでずっと怯えて控えていた

「十字を切る」祈りを、私は恐れずに、あらゆる場所で常に主に捧げ続けます。

今日のメッセージは皆さんを「十字架の祈り」に招くために、お話しています。

今から十数年前に、ルーテル神学校に晴佐久昌英司祭をお招きして、神学教職セミナーを行いました。その時に晴佐久神父は私たちに問いかけました。

「なぜ、みなさんは大胆に十字架を切らないのですか？」

確かにルター派の牧師も、教会員の方々もみな、素速く十字を切る人はいても、大きく十字を切る人はほとんど見かけません。ローマン・カトリックとの違いを

強く意識するからでしょうか。

「小教理問答書の中でルターも、朝と夕の祈りの両方で勧めていますよ」

晴佐久司祭はそう言われました。けれど手元にある日本福音ルーテル教会 1980 年改訂版には、その言葉がありません。

＜一家の主人が教えなければならない朝夕の祈り。

朝の祈り 毎朝起きて、次のように言いなさい。

父と子と聖霊とのみ名によって、アーメン。

そして、ひざまずくか、または立って、「使徒信条」と主の祈りをとなえ、もし望むならば、つぎの短い祈りをささげる。……

夕べの祈り 毎晩、床につく時、次のように言いなさい。

父と子と聖霊とのみ名によって、アーメン。

そして、ひざまずくか、または立って、「使徒信条」と主の祈りをとなえ、もし望むならば、つぎの短い祈りをささげる。……

けれど驚くべき事に違いました。晴佐久昌英司祭の言葉は正しかったのです。

ルーテル教会信条集＜一致信条書＞の 505 ページにはこうあります。

<家長が、彼のしもべ、しもめに対して、教えなければならない、朝夕の祈り。

あなたは、朝、寢床より置き出たときに、十字を切り、次のように言うのです。

父と子と、聖霊のみ名によって、アーメン。

次に、ひざまずくか、立つかして、使徒信条と主の祈りをとなえ、のぞむならば、

さらにつけ加えて、次の小祈禱をとなえてもよいのです。……………

あなたは、夜、寢床に入る時に十字を切り、次のように言うのです。

父と子と、聖霊のみ名によって、アーメン。

次に、ひざまずくか、立つかして、使徒信条と主の祈りをとなえ、のぞむならば、

さらにつけ加えて、次の小祈禱をとなえてもよいのです。……………>

ルターが本当に十字を切ることを勧めていました。これを頼りにこれからは、あらゆる時に堂々と十字を切ることにします。皆さんは正しい十字の切り方をご存知ですか。ローマカトリックと聖公会は、上から下に縦の線を描き、次に左から右に横に線を引きます。

自分に十字を切る時は、右手を上げて、額からお腹、左肩から右肩の順番です。

左手は胸に当てて最後に両手を合わせます。そして、ルターが教えているように祈ります。

父と子と、聖霊のみ名によって、アーメン。

父と子と聖霊は、三位一体の神さまです。ですから聖霊の後「と」は入りません。

この全身を使った祈りが、短くて一番力強い祈りです。

今日皆さんの額に十字を刻みます。それは一体何の為でしょう。「灰の水曜日」を知らない人にとって、額に十字架を付けて歩く人は、とても不思議な変人です。だからみんな帰る時には、目深に帽子を被り、十字架を隠して電車に乗ります。

けれど 2 年前に友だちが、額に十字架がある事を忘れて、そのまま電車に乗ってしまいました。みんなじっと彼女の顔を眺めたり、また不自然に視線を逸らすので、不愉快になり窓ガラスを見たら、額の黒い十字架が見えたそうです。

気合いの入ったメイクをする、目力のある人です。車内はきっとプチパニックでしょう。本当に COOL な証しです。油で溶いた炭は一晩で見えなくなります。けれど神さまとあなたの関係は、永遠に続きます。

十字架の祈りは、どんな時にも必ず道を開きます。嬉しい時に神さまに感謝して、悲しい時に神さまに嘆いて、恐ろしい時に神さまに救いを求めて。いつでも大胆に十字を切って、イエスさまの後に続いて進みましょう。

十字架の祈りは時と場所を切り開き、神さまとあなたをつなぐ門を開きます。神さまの拡げるみ手の中に、十字を切って飛び込んで行きましょう。

人知では到底計り知ることの出来ない神の平安が、キリスト・イエスにあってあなたがたの思いと心とを守られますように。父と子と聖霊のみ名によって、十